

令和4年度

Kakomon-Shōkai 2022

全国通訳案内士試験

二次口述過去問詳解

英語

(上)

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



全出題の再現に高品質の解答例・解説を付し、傾向と対策
及び会場の運営状況まで、貴重な最新情報を満載！

過去問研究なくして合格なし 全受験者必携！

「楽しい学習による自己実現」を応援する

 **PEP英語学校**
We are full of PEP!

令和4年度
全国通訳案内士試験二次口述
試験会場の様子

2022/12/11 (日)
撮影者：杉森 元



東京会場
大妻女子大学

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地
アクセス：JR 総武線「市ヶ谷駅」徒歩 10 分



東京会場
大妻女子大学
(受付の案内)



東京会場
大妻女子大学

千代田キャンパスの見取図



各会場の面接室内の様子については
こちらの **YouTube** 動画で！

関西会場：関西経理専門学校
九州会場：西南学院
合計 3 か所



教育系
YouTuber

PEP English School

令和4年度

Kakomon-Shōkai 2022

全
国
通
訳
案
内
士
試
験
二
次
口
述
過
去
問
詳
解
(上) 英語

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



まえがき

すでにご承知の通り、全国通訳案内士試験（平成 29 年度までは「通訳案内士試験」、正式名称の変遷に拘わらず通称「通訳ガイド試験」）の二次口述は、平成 25 年度に大きな形式上の変更があった。具体的には、従前の「ランダムな質疑応答」から「通訳とプレゼンテーション」という定型の課題が設定されたものになった。当該試験が、国家資格を付与する試験として、客観性をより担保しやすい形式に改良されたことは、積極的に評価できる。

そしてさらに平成 30 年度には、通訳案内士法の改正に伴う新ガイドラインに基づき、二次口述の形式にもマイナーチェンジが施された。その内容の詳細については本文に譲るが、大まかにいうと、従前の「逐次通訳とプレゼンテーション」という平成 25 年度に定められた 2 つの課題は維持しつつ、これに「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」（略称「実務質疑」）という新課題が追加された。これは、当該改正によって一次筆記試験に「通訳案内の実務」という新科目が加わったことと平行に考えることができる。つまり、筆記と口述の両試験において「実務能力」が問われるようになったのである。

さて、では平成 30 年度より実務能力の判定を追加して合格の要件を重くしたのは、どのような趣旨によるものであろうか。この答を得るためには、まず先の通訳案内士法改正の内容を把握することが必要である。ここでは、従前認められてきた当該資格保持者による業務独占の廃止等の規制緩和により、ガイド業務へ新規参入するための法的要件のハードルを下げて（無資格でも就業できるようにして）いる。その一方で、有資格を志向する者（新規受験者及び過去の合格者）については、当該資格試験の科目・課題の追加に加え、実務研修受講を義務付ける等、逆にハードルを上げ、その実質的能力の担保を強く求めている。

これは、東京 2020 オリンピック等を控えての訪日外国人観光客急増に対応すべく、法的要件を撤廃してガイドの基礎数を容易に確保できるようにする一方で、「全国通訳案内士」という名称を独占できる資格保持者に

については、非資格保持者よりも明らかに質の高いサービスを提供できる能力を求めることにより、資格保持者の差別化を図っていく、という趣旨であろう。

そして、全国通訳案内士としての能力を測るための第一関門である当該試験において、従前の「通訳とプレゼンテーション」は、その基本的能力を試す課題として適切であると判断して維持を決め、さらにこれに加えて「実務能力」を問うことにした。こうすることにより、いっそう質が高く、かつ即戦力たりうる人材を選別し資格を付与する。これが平成 30 年度の試験形式変更の理由であると考えられる。そしてこの新形式とその趣旨は、翌 2019 年度以降そのまま継承されている。

つまり、全国通訳案内士への期待は高く、その資格付与のための新試験の難易度は上昇傾向にある、といえる。特に二次口述は難易度が高く、近年の合格率は下降している。また、東京 2020 オリンピックが終了し、政策的に通訳案内士の有資格者を大幅に増やすという動機付けが消えてしまった今後は、この傾向が続くものと予想される。

通訳ガイド試験の難易度・合格率が、東京 2020 オリンピックを見据えた政策と連動していたことは、数字が示している。東京 2020 オリンピックの招致が決まった平成 25 (2013) 年に行われた当該試験の最終合格率(英語)は、30%を超えていた。しかし、業務独占廃止の動きと共にこれが下降を開始し、業務独占廃止が決定した平成 30 (2018) 年について 10.1%、翌 2019 年度には 9.2%と 1 ケタに下がり、2021 年度の当該試験の最終合格率は 8.5%と、ここ十数年で最低の水準になった。

なお、2022 年度の最終合格率は 17.4%と前年比 8.9 ポイントの増加となった。これは、海外からの観光客数の回復に伴って一定の増員が必要になった事情の反映であると考えられる。ただ、この増加は一次筆記試験の合格率の上昇 (19.1%⇒37.4%) によるところが大きく、二次口述の合格率についてはさほど変わっていない (43.7%⇒49.0%)。全体としては、2018 年の改正による業務独占廃止後、有資格者の差別化のため、実務能力の有無を問い、当該試験の難度を高く保つ、というトレンドは継続していると考えられる。

全国通訳案内士試験が、今後も難関資格試験として存続していくとすれ

ば、当該試験の突破を目指される方々にとって、過去問研究の重要性はますます高い。受験準備は過去問から—これが普遍のセオリーであることは多言を要しないからである。

しかし、受験者にとって過去問入手の必要性が高いにもかかわらず、二次口述は密室の中で行われ、その出題内容は非公開である。本書は実際に口述試験を受けられた方々からの聞き取りをもとに出題を再現し、これに解答例及び解説を加えたものである。また、試験会場での実際の運営の状況に関するレポートや、試験実施団体が発表している関連資料等も掲載しており、本書を読めば二次口述の全体像が完全に把握できるように構成されている。ぜひ、読者諸兄におかれては本書を十分に活用され、見事合格の栄冠を得られることを希望する。

最後になったが、情報提供に協力してくださった受験者の皆さん、英文ネイティブ校正者の N.M さん、そして「面接再現動画」に出演いただいた顧問弁護士の芝田麻里先生、その他、本書の上梓のためにご尽力くださった全ての方々に、著者として心より感謝申し上げます。

PEP 英語学校 校長 杉森 元

本シリーズの構成について

平成 25 年度より実施された新形式の二次口述試験では、逐次通訳課題とプレゼンテーション課題がセットになった問題組が、試験時間帯ごとに準備されてきた。平成 25 年度と 26 年度は、合計 6 つの時間帯それぞれに 1 組、計 6 種類の問題セットが準備された。しかし、平成 27 年度には、各時間帯に 4 ないし 6 種類の問題セットが準備され、大幅な問題増となった。そして、その翌年度以降、直近の 2022 年度（2018 年度より各問題組には新課題「実務質疑」が追加された）までは、各時間帯に 2 種類の問題セットが用意されるにとどまった。この問題数変遷の理由は発表されていないが、おそらく問題漏洩防止の観点から、試験実施団体は平成 27 年度より、各時間帯につき複数の問題セットを準備することにしたが、漏洩対策が目的なのであれば、各時間帯に 2 つで十分であり、4 ないし 6 までも増加させる必要はないと考え直したため、翌年以降は各時間帯に 2 種類の問題を準備するにとどめたものと思われる。

当書『過去問詳解』シリーズは、新形式初年度の平成 25 年度より毎年、その年の過去問とその解答・解説を収録している。出題問題セット数の変遷に伴って、平成 25、26 年度分はそれぞれ単巻、平成 27 年度分は上・中・下の三分冊、平成 28、29、30 年度、2019、2020、2021 年度分は、上・下の二分冊で発刊された。今回、2022 年度の方は前年度と同じ上・下の二分冊で発刊する。

ここにおいては、全出題の再現及び出題傾向の分析を上巻の「第 1 章 出題概観」に、そして時間帯 1～3 における出題分の解答・解説を同巻の「第 2 章 解答・解説」に、その他の情報を第 3 章以降に掲載する。そして下巻では、全出題の再現を「第 1 章 出題」に、そして時間帯 4～6 における出題分の解答・解説を「第 2 章 解答・解説」に掲載する、という編纂方針を採った。

新形式も 10 年目になり、すでにかかなりの量の過去問が蓄積されている（平成 30 年度のマイナーチェンジ以後も、それまでの逐次通訳とプレゼンテーション課題は維持されており、その内容も、平成 25～29 年度に出

題された問題が再び出されている。よって、平成 25～29 年度の過去問の有用性は、平成 30 年度以降も不変である)。過去問は受験準備のための最良の素材であり、通訳案内士の業務におけるニーズを反映した、合格後も役立つ情報の宝庫である。

学習者諸兄におかれては、以上をご理解の上、受験準備にあたり、必ず平成 25 年度から直近年度までの全過去問を検討されることをお勧めする。

以上

第1章 出題概観	1
面接における出題手順	3
出題の流れ.....	4
各課題の条件.....	5
全出題の再現（時間帯1～6）	6
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）.....	8
問題セット1（1-1 外国語訳が「焼酎」の組）.....	8
問題セット2（1-2 外国語訳が「日本の果物」の組）.....	10
時間帯2（面接時間 11:00-12:00）.....	12
問題セット1（2-1 外国語訳が「京都の祇園・東山エリア」の組）.....	12
問題セット2（2-2 外国語訳が「ラーメン」の組）.....	14
時間帯3（面接時間 13:00-14:00）.....	16
問題セット1（3-1 外国語訳が「駅弁」の組）.....	16
問題セット2（3-2 外国語訳が「陶器」の組）.....	18
時間帯4（面接時間 14:00-15:00）.....	20
問題セット1（4-1 外国語訳が「金刀比羅宮」の組）.....	20
問題セット2（4-2 外国語訳が「一見さんお断り」の組）.....	22
時間帯5（面接時間 15:30-16:30）.....	24
問題セット1（5-1 外国語訳が「桜島の火山灰」の組）.....	24
問題セット2（5-2 外国語訳が「天婦羅」の組）.....	26
時間帯6（面接時間 16:30-17:30）.....	28
問題セット1（6-1 外国語訳が「和楽器」の組）.....	28
問題セット2（6-2 外国語訳が「日本のコロナ規制」の組）.....	30
出題傾向の分析	32
全体.....	32
試験形式について.....	32
出題分野について.....	32
一次筆記出題との関連.....	33
プレゼンテーション問題.....	33
総論.....	33
各論.....	33

モデル・プレゼンテーションの和訳.....	54
質疑応答で出された質問	55
関連過去問.....	55
③ お守り	55
講評.....	55
モデル・プレゼンテーション	56
英語表現	56
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	57
質疑応答で出された質問	58
関連過去問.....	59
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	59
問題「焼酎」	59
解答例	59
英語表現.....	60
講評.....	60
関連過去問	60
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	61
問題「日本酒だと思ったら焼酎だった」	61
講評.....	61
解答例	61
英語表現.....	62
解答例の和訳.....	62
関連過去問	63
問題セット2（1-2 外国語訳が「日本の果物」の組）	64
プレゼンテーション問題.....	64
テーマ	64
解答・解説	64
① 接客ロボット.....	64
講評.....	64
モデル・プレゼンテーション	65
英語表現	66
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	66

質疑応答で出された質問	67
関連過去問	68
② 中山道	68
講評	68
モデル・プレゼンテーション	69
英語表現	69
モデル・プレゼンテーションの和訳	70
質疑応答で出された質問	71
関連過去問	71
③ 門松	71
講評	71
モデル・プレゼンテーション	72
英語表現	72
モデル・プレゼンテーションの和訳	73
質疑応答で出された質問	74
関連過去問	74
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	75
問題「日本の果物」	75
解答例	75
英語表現	75
講評	75
関連過去問	76
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	76
問題「ブドウ狩りで採りつくされた」	76
講評	76
解答例	77
英語表現	77
解答例の和訳	78
関連過去問	78
時間帯 2（面接時間 11:00-12:00）	79
問題セット 1（2-1 外国語訳が「京都の祇園・東山エリア」の組）	79
プレゼンテーション問題	79

テーマ	79
解答・解説	79
① 金の鯨（シャチホコ）	79
講評.....	79
モデル・プレゼンテーション	80
英語表現	80
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	81
質疑応答で出された質問	82
関連過去問.....	82
② 海女さん.....	83
講評.....	83
モデル・プレゼンテーション	83
英語表現	84
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	85
質疑応答で出された質問	85
関連過去問.....	86
③ わさび	86
講評.....	86
モデル・プレゼンテーション	87
英語表現	87
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	88
質疑応答で出された質問	89
関連過去問.....	90
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	90
問題「京都の祇園・東山エリア」	90
解答例	90
英語表現.....	91
講評.....	91
関連過去問	91
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	92
問題「京都で子供が神社仏閣に飽きた」	92
講評.....	92

解答例	92
英語表現.....	93
解答例の和訳.....	93
関連過去問	94
問題セット2 (2-2 外国語訳が「ラーメン」の組)	95
プレゼンテーション問題.....	95
テーマ	95
解答・解説	95
① 線状降水帯	95
講評.....	95
モデル・プレゼンテーション	96
英語表現	97
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	98
質疑応答で出された質問	99
関連過去問.....	99
② 漆塗り	100
講評.....	100
モデル・プレゼンテーション	101
英語表現	102
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	102
質疑応答で出された質問	103
関連過去問.....	104
③ 道の駅	104
講評.....	104
モデル・プレゼンテーション	105
英語表現	106
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	106
質疑応答で出された質問	107
関連過去問.....	107
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳 (通訳)	108
問題「ラーメン」	108
解答例	108

英語表現.....	108
講評.....	108
関連過去問.....	108
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .	109
問題「有名ラーメン店が急な休業」	109
講評.....	109
解答例	110
英語表現.....	111
解答例の和訳.....	111
関連過去問	111
時間帯 3（面接時間 13:00-14:00）	113
問題セット1（3-1 外国語訳が「駅弁」の組）	113
プレゼンテーション問題.....	113
テーマ	113
解答・解説	113
① 西九州新幹線.....	113
講評.....	113
モデル・プレゼンテーション	114
英語表現	114
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	115
質疑応答で出された質問	116
関連過去問.....	116
② なまはげ.....	117
講評.....	117
モデル・プレゼンテーション	118
英語表現	119
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	119
質疑応答で出された質問	120
関連過去問.....	120
③ 俳句.....	121
講評.....	121
モデル・プレゼンテーション	122

英語表現	122
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	123
質疑応答で出された質問	124
関連過去問.....	124
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	125
問題「駅弁」	125
解答例	125
英語表現.....	126
講評.....	126
関連過去問	126
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .	126
問題「冷たい駅弁は食べたくない」	126
講評.....	126
解答例	128
英語表現.....	128
解答例の和訳.....	128
関連過去問	129
問題セット2（3-2 外国語訳が「陶器」の組）	130
プレゼンテーション問題.....	130
テーマ	130
解答・解説	130
① 佐渡金山.....	130
講評.....	130
モデル・プレゼンテーション	130
英語表現	131
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	132
質疑応答で出された質問	132
関連過去問.....	132
② 古民家	133
講評.....	133
モデル・プレゼンテーション	133
英語表現	134

モデル・プレゼンテーションの和訳.....	135
質疑応答で出された質問	136
関連過去問.....	136
③ おみくじ.....	137
講評.....	137
モデル・プレゼンテーション	137
英語表現	138
モデル・プレゼンテーションの和訳.....	139
質疑応答で出された質問	140
関連過去問.....	140
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	141
問題「陶器」	141
解答例	141
英語表現.....	141
講評.....	141
関連過去問	142
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .	142
問題「窯元の作品完成に3週間かかる」	142
講評.....	142
解答例	143
英語表現.....	143
解答例の和訳.....	143
関連過去問	143
第3章 「予定内容について」掲載のサンプル問題.....	145
文書「予定内容について」の全文面	148
問題と解答例.....	150
第4章 各課題内の時間管理	153
①プレゼンテーションの準備時間（30秒）	155
②プレゼンテーションの時間（2分）	155
③外国語訳解答時間（1分）	156

④実務質疑の準備時間 (30 秒)	158
第5章 試験会場関連情報.....	159
本試験の運営状況.....	161
会場内での移動について	161
試験運営受託者の交代について.....	162
本試験当日のタイムテーブル	163
新型コロナウイルス感染症拡大防止策について.....	166
問題漏洩防止のための行動制限・他について	168
受付.....	168
大控室	169
小控室	169
面接室前.....	170
面接室	170
挨拶・本人確認	170
課題	171
試験終了.....	171
一時待機場所	171
会場の雰囲気・付近の様子	171
会場到着まで	171
受付.....	172
大控室.....	173
部屋間の移動について	173
受験するにあたっての注意	173
持ち物.....	173
受付チェックインをするタイミング等.....	174
待機時間の過ごし方等	174
面接室内	175
受験票やその他の事務手続用書類.....	177
受験票	177
第6章 試験対策.....	181

お勧めの勉強法と教材	183
総論.....	183
インプット	183
①過去問の把握	183
②単語や日本事象に関する知識など	184
③各課題の理論（全体）	185
アウトプット	186
各課題の理論（個別）	187
プレゼンテーション	187
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	190
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	191
各課題の演習	192
プレゼンテーション	192
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）	199
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）	202
過去問出題一覧表	203
教材の入手先	212
第7章 試験改正の経緯・他	215
試験改正の経緯	217
平成 25（2013）年度ガイドライン改正	217
「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知	218
平成 30（2018）年度ガイドライン改正	219
平成 30 年度「口述試験の予定内容について」による告知	221
平成 31（2019）年度ガイドライン改正	221
2019 年度「口述試験の予定内容について」による告知	221
令和 2（2020）年度ガイドライン改正	221
2020 年度「口述試験の予定内容について」による告知	221
令和 3（2021）年度ガイドライン改正	222
2021 年度「口述試験の予定内容について」による告知	222
令和 4（2022）年度ガイドライン	222
2022 年度「口述試験の予定内容について」による告知	222

令和 5（2023）年度ガイドライン.....	222
近年の受験者数及び合格者数.....	232

第1章

出題概観

- ・ 面接における出題手順
- ・ 全出題の再現（時間帯1～6）
- ・ 出題傾向の分析



本章の内容

本章においては、本年度の二次口述における全出題を概観する。各課題の解答例及び解説については、第2章「解答・解説」をご覧ください。

試験会場	大妻女子大学
試験会場所在地	〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
試験会場交通案内	<ul style="list-style-type: none"> ・JR総武線「市ヶ谷駅」徒歩10分 ・都営新宿線「東大町駅」有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」A3出口 徒歩7分 ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」5番出口 徒歩5分 ・東京メトロ東西線「九段下駅」2番出口 徒歩12分

試験会場案内図



【試験の際に必ず持参していただくもの】

①受験票

※受付時に受験票を確認します。
スマートフォン等の画面に表示、または、紙にプリントアウトしたものをご持参ください。

②写真付き身分証明書 下記のいずれか1つ

運転免許書、運転経歴証明書、写真付きの住民基本台帳カード、パスポート、在留カード、マイナンバーカード

※上記がない場合は、下記証明書類のいずれか2つ

マイナンバー通知カード、銀行または郵便局のキャッシュカード、クレジットカード、各種健康保険証、年金手帳、福祉手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）、住民票写し、学生証、学生手帳、社員証、国家公務員証、地方公務員証、母子手帳

③筆記用具は鉛筆、シャープペン、ボールペンのいずれか（マジックは不可）

④腕時計（辞書機能・通信機能のないもの）

※試験室に時計がない場合がありますが、携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチ等を時計代わりに用いることや、置き時計の持込は不可とします。

筆記試験通過通知書に掲載された二次口述受験者のための会場案内

面接における出題手順

問われる課題は、①プレゼンテーション問題（即興プレゼン&質疑）、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（便宜的に「外国語訳」または「逐次通訳」「通訳」）、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（便宜的に「実務質疑」「実務トラブル質疑」「実務トラブル」「シチュエーション問題」等）、の3つであり、この順番で出題された。各課題の冒頭、試験方法に関する簡単なインストラクションが日本語で行われる。

なお、入室し挨拶を交わした後、最初に問われるのが、名前、誕生日、現住所の3つである。このやりとりは、英語で行われることと日本語で行われることがあり、採点対象外であると考えられる。面接時間は、1人につき合計で約11分と設定されている。

次頁の「出題の流れ」を一読された後、以下の YouTube 動画を視聴いただければ、試験の流れの把握は完璧となる。この動画は、平成30年度の改正で加わった新課題「実務質疑」までを含んだ、新試験の様子を動画により完全に再現したものである。一目で試験の流れが把握でき、受験者のイメージづくりに最適といえる。



視聴方法

YouTube のページより、アカウント名「PEPEnglishSchool」または「通訳ガイド」等のワードで検索し、上のサムネイルを選択する。

出題の流れ

課題	順	行為	内容・趣旨	言語	所要時間
	①	入室、挨拶	リラックスと本人確認 J試験官が日本語または英語で、受験者の名前・誕生日・住所を訊く	日本語 英語	30秒
プレゼンテーション&質疑	②	プレゼン 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	③	プレゼン準備	受験者が3択のお題から1つを選び、プレゼンを準備	無言	30秒
	④	プレゼン	受験者がプレゼン	英語	2分
	⑤	プレゼン質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
外国語訳	⑥	外国語訳 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑦	外国語訳問題文 読み上げ	J試験官が問題文を読み上げる	日本語	30秒
	⑧	外国語訳解答	受験者が問題文の英訳を口頭で解答	英語	1分
実務質疑	⑨	実務質疑 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑩	実務質疑準備	受験者が問題用紙を黙読して質疑の準備	無言	30秒
	⑪	実務質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
	⑫	終了宣言、挨拶、退室	J試験官は試験終了を告げ、問題漏洩を防ぐため、問題用紙等を回収して受験者を退出させる	日本語	30秒
計					11分

※J試験官＝日本語母語話者試験委員、E試験官＝英語母語話者試験委員

各課題の条件

◆プレゼンテーション&質疑

- ① 受験者は、30秒で三択のお題から1つを選び、かつプレゼンテーションの準備をする
- ② 準備中に、メモを取ることもできる（この旨の明文はガイドラインにないが、実際の現場では認められていた）
- ③ 受験者は、プレゼンテーションの冒頭で、選択したお題がどれであるかを英語で宣言した上で、プレゼンテーションに入る
- ④ プレゼンテーションは、2分程度でまとめる
- ⑤ プレゼンテーション終了後、英語母語話者試験委員と英語による質疑応答を行う

◆外国語訳

- ① 問題文の読み上げは1度のみ
- ② 受験者は、メモを取ることができる
- ③ 訳出は、問題文読み上げ終了後、直ちに開始し、1分以内に終了する

◆実務質疑

- ① 受験者は、30秒で問題文を黙読し、質疑応答の準備をする
- ② 準備時間中、受験者はメモを取ることができる
- ③ 質疑は、英語母語話者試験委員を観光客と見立てての英語によるロールプレー形式により行う

全出題の再現（時間帯 1～6）

受験者を合計 6 つの時間帯のグループに分け、時間帯 1～6 まで、それぞれ 2 組の「三択プレゼンテーション＋外国語訳＋実務質疑」セットが割り当てられた（計 12 セット）。各課題の数は、外国語訳が $2 \times 6 = 12$ 個、プレゼンテーションのトピックは $3 \times 2 \times 6 = 36$ 個あった。実務質疑は、外国語訳の問題数と同一であり、全部で 12 個である。

令和4年度 出題一覧表 2022年12月11日(日)実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
1 10:00-11:00	1	①計画運休 ②鳴門海峡 ③お守り	焼酎	日本酒と思ったら 焼酎だった
	2	①接客ロボット ②中山道 ③門松	日本の果物	ブドウ狩りで 採り尽くされた
2 11:00-12:00	1	①金の鯨(シャチホコ) ②海女さん ③わさび	京都の 祇園・東山エリア	京都で子供が 神社仏閣に飽きた
	2	①線状降水帯 ②漆塗り ③道の駅	ラーメン	有名ラーメン店が 休業日
3 13:00-14:00	1	①西九州新幹線 ②なまはげ ③俳句	駅弁	冷たい駅弁は 食べたくない
	2	①佐渡金山 ②古民家 ③おみくじ	陶器	窯元の作品完成に 3週間かかる
4 14:00-15:00	1	①恵方巻 ②中華街 ③床の間	金刀比羅宮	金刀比羅宮の 階段に妻が疲れた
	2	①白河の関 ②鯛焼き ③グランピング	一見さんお断り	一見さんを なぜ断るのか
5 15:45-16:45	1	①秋田竿燈まつり ②借景 ③赤飯	桜島の火山灰	雨の場合の 桜島観光
	2	①杉玉 ②小笠原諸島 ③セルフレジ	天婦羅	天婦羅に飽きた
6 16:45-17:45	1	①麴 ②山寺 ③一人カラオケ	和楽器	プロの三味線の 演奏を聴きたい
	2	①大安吉日 ②うどん ③豊洲市場	日本の コロナ規制	博物館でのマスク 着用は義務か

※問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

時間帯 1（面接時間 10:00-11:00）

問題セット 1（1-1 外国語訳が「焼酎」の組）

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明（プレゼンテーション）を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

計画運休
鳴門海峡
お守り

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本語の内容—

日本のお酒として、外国人観光客の間では日本酒に人気がありますが、日本人の間では焼酎もよく飲まれています。焼酎は、麦や芋などの穀物を原料とする蒸留酒で、ロック、水割り、お湯割りの他に、レモン果汁で割るなど、さまざまな飲み方を楽しむことができます。(122 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

【シチュエーション】

お客さまが、自由時間に都内で日本酒と間違っ
て焼酎を購入してしまい、困っています。通
訳案内士として対応してください。

【条件】

お客さまは初来日で、定年退職した 60 代
のご夫婦です。日本らしいお土産を購入し
たいと希望されています。個人旅行で、時
間の余裕はあります。

問題セット2 (1-2 外国語訳が「日本の果物」の組)

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

接客ロボット
中山道
門松

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本語の内容—

日本にはたくさんの果物があり、外国人観光客の間でも人気です。日本の果物は単に美味しいだけでなく、独自の品種改良により、大きいものや形の美しいものがあり、高く評価されています。旬の果物、たとえば夏のスイカや冬のミカンなどをいただくと、季節の移り変わりを感ずることができます。(137字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

ページ中略

出題傾向の分析

全体

試験形式について

平成 30 (2018) 年度のリニューアル (新課題「実務質疑」の追加等) 以来、前年度に続き、本年度も原則として同一の形式がそのまま継承された。

出題分野について

全体的に、例年通り観光アトラクションを中心とした各分野からの出題であった。前年度には、出題意図が不明の「左団扇」「罌雲」といった難問が出題されたが、本年度はこうしたことはなかった。

コロナ関連では、外国語訳・実務質疑において1問ずつ(時間帯6の2)出題されたのみであった(なお、時間帯1の2のプレゼン「接客ロボット」、時間帯5の2のプレゼン「セルフレジ」、時間帯6の1のプレゼン「一人カラオケ」も、一応「人的接触を減らす」という意味で関連の可能性あり)。これは、コロナ2年目であった前年度(ほぼ0で、せいぜいプレゼンの「デジタル庁」がある程度)を踏襲し、徐々に元の状態に戻すことを志向した社会情勢を反映しているともいえる(コロナ初年度の2020年度は、コロナ関連が7問出題された)。

難問とされる「非観光」(純粋な時事問題の解説等)からの出題としては、時間帯6の2のプレゼン「一人カラオケ」がある程度であった(これとて、具体的アトラクションにとらえることも可能である)。純粋なネガティブトピック(「日本の自然災害」等)もなかった。

例年通り過去問の再出も見られた(プレゼンテーションで過去と同一の問題が出た例、また、通訳及び実務質疑において、過去に出たのと同一のテーマが出された例があった)。

ガイド試験の伝統的出題分野「明治維新」については、2019年度、数年ぶりに復活して以来、昨年度まで連続で出題があったところ、本年度はこの分野からの出題がなかった。しかし、この分野からの出題はいずれまた近い将来に復活することは間違いない。

一次筆記出題との関連

二次口述の問題は、同年度ないし近接した年度の一次筆記の出題とテーマを共通にすることがよくある。今年度については、下記のような例が見られた。

一次筆記	二次口述
英語 問題3 3-3	時間帯1 ①プレゼン「お守り」
英語 問題3 3-4	時間帯4 ①プレゼン「床の間」

プレゼンテーション問題

総論

出題形式や問題数については、平成28年度以来の「6つの時間帯に問題セットが2つずつ」が維持された。プレゼンテーションのトピックは、1セットに3つずつなので、今年度のお題の数は全部で $6 \times 2 \times 3 = 36$ 個である。出題の内容的特徴につき、以下、各論において詳述する。

各論

過去問の再出題

今年度に出題されたプレゼンテーションのトピック中、過去問の再出題は次の通り、合計10題である。

No.	2022年度出題	過去問
1	計画運休（2度目）	2019「計画運休」
2	中山道（2度目）	H27「中山道」
3	門松（2度目）	H29「門松」
4	漆塗り（3度目）※	H27「漆器」、H28「漆器」
5	道の駅（3度目）	H27「道の駅」、2019「道の駅」
6	なまはげ（2度目）	H27「なまはげ」
7	恵方巻（2度目）	H27「恵方巻」
8	鯛焼き（2度目）	2019「鯛焼き」
9	秋田竿燈まつり（2度目）	2019「竿燈まつり」
10	杉玉（2度目）	H30「杉玉」

※「漆塗り」は、その技法や職人を指すこともあるが、ここでは「漆器」と同義として扱った。

再出題は、2021年度が4題、2020年度が3題、2019年度が11題、その前のH30年度が4題であったことを考えると、本年度は3年ぶりの大幅増であったといえる。

いずれにせよ、過去問研究の重要性は、受験における普遍の原則である点に変わりはない。参考までに、これまで複数回出題された同一のトピックを以下に示す。これらのお題は全て再出題が予想されるので、今後の受験者は優先してプレゼンの準備をしておくべきである。これまで、同一のお題が出された回数は3回が最高で、4回出た例はない。4回目の出題も近く予想されるが、2回出されたお題が再々出題（3回目）される可能性がより高そうである。

3回出題されているもの（6題）

彼岸（2015、2018、2021）、高野山（2014、2016、2020）、明治維新（19世紀の日本の歴史的出来事）（2013、2014、2019）、風鈴（2014、2015、2019）、漆器（漆塗り）（2015、2016、2022）、道の駅（2015、2019、2022）

2回出題されているもの（25題）

里山（2019、2021）、流鏝馬（2018、2021）、鳥居（2018、2021）、鎖国（2014、2020）、除夜の鐘（2018、2020）、おでん（2015、2019）、桃の節句（ひなまつり）（2016、2019）、千羽鶴（2017、2019）、カプセルホテル（2015、2019）、渋谷スクランブル交差点（2015、2018）、鹿威し（2015、2018）、打ち水（2015、2018）、絵馬（2013、2017）、日本の城（2015、2016）、初詣（2014、2016）、厄年（2014、2016）、東海道五十三次（2014、2015）、計画運休（2019、2022）、中山道（2015、2022）、門松（2017、2022）、なまはげ（2015、2022）、恵方巻（2015、2022）、鯛焼き（2019、2022）、（秋田）竿燈まつり（2019、2022）、杉玉（2018、2022）

超定番「明治維新」

先述の通り、通訳ガイド試験の伝統ともいえる「明治維新」関連の出題は、数年鳴りを潜めた後、2019年度に復活し、以降、出題が続いていた。しかし本年度は、4年ぶりに出題がなかった。

ページ中略

第2章

解答・解説

・時間帯1 & 2 & 3



本章の内容

本章では、本試験の時間帯 1～3 における出題につき、解答例を示した上で解説を加える。

課題は、出題された順に、①プレゼンテーション問題(プレゼン&質疑)、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)、の 3 つであり、この順番で検討する。

なお、時間帯 4～6 における出題分の解答例と解説については、下巻に掲載予定である。

時間帯 1 (面接時間 10:00-11:00)

問題セット 1 (1-1 外国語訳が「焼酎」の組)

プレゼンテーション問題

テーマ

- ① 計画運休
- ② 鳴門海峡
- ③ お守り

※各プレゼン例の朗読音声は、別売書籍『モデル・プレゼンテーション集 過去問編①』の添付 CD に収録

解答・解説

① 計画運休

講評

本題「計画運休」は、2 回目の出題である。前回出題されたのは 2019 年であった。この年は大型台風の到来が複数回あり、計画運休という言葉が「流行語大賞」のトップ 10 にノミネートされた年であったので、この出題は時事問題としての意味合いが強かった印象がある。一方、2022 年度も計画運休は行われたが、流行語になるほどではなかった。よって、今回の出題趣旨は純粹に、外国人観光客に対する実用的な情報提供の疑似を行わせる、というものと考えられる。よって、プレゼンの内容としては、計画運休の趣旨や内容を説明した後、計画運休の情報はどこで得られるか、について言及して話を締めくくるのがよいであろう。

モデル・プレゼンテーション

I would like to talk about ***keikaku unkyu***.

Keikaku unkyu literally means “planned suspension of operations.” When a typhoon is forecast, for example, railway operators announce the temporary suspension of scheduled transportation services in advance in order to avoid confusion.

Keikaku unkyu can prevent such chaotic situations as huge crowds of passengers being stranded at stations, or passengers being stuck on trains between stations. On the other hand, it is also possible that an

anticipated typhoon might not cause much damage and the *keikaku unkyu* ends up being just a loss for the companies and an inconvenience for the passengers.

Although decades old, *keikaku unkyu* started to be implemented only recently as people became more safety conscious and the accuracy of weather forecasts improved. Recognizing the change, “*keikaku unkyu*” was chosen as one of the Buzzwords of the Year in 2019, when Japan was hit by a number of strong typhoons.

Nowadays, the government and public transportation operators are working to figure out when they should announce *keikaku unkyu*. Basically, *keikaku unkyu* should be announced 24 hours prior to the planned suspension. Relevant information is available on official transportation company websites. I hope you find this information helpful. Thank you. (200 words)

英語表現

- suspension [səspenʃən] 停止
- typhoon [taifún] 台風
- forecast [fó:ækæst] 予見する
- railway operator [ápərəitə] 鉄道会社
- temporary [témpərəəri] 臨時的、一時的な
- transportation [trənspəteíʃən] 交通
- chaotic [keiátik] 大混乱の
- strand [strænd] 立ち往生させる
- anticipate [æntisəpèit] 予測する
- inconvenience [ínkənvi:niəns] 不便さ
- implement [impləmənt] 実行する
- accuracy [ækjərəsi] 正確性
- weather forecast [wéðə] 天気予報
- Buzzwords of the Year 流行語大賞
- prior to... [praíə] ～に先立ち
- relevant [réləvənt] 関連する

モデル・プレゼンテーションの和訳

私は、**計画運休**についてお話しいたします。

計画運休とは、文字通りには「予定された運行の休止」という意味です。たとえば、台風の到来が予想されるような場合に、鉄道会社が混乱を避けるべく、予定されていた運送サービスを一時的に休止する旨を事前に発表することを指します。

計画運休を行えば、大勢の乗客が駅に取り残されたり、駅間で電車中に乗客が閉じ込められたり、といった大混乱を避けることができます。一方で、せっかく計画運休を行っても、実際には予期した台風が大した被害を起こさず、企業には損失、乗客には不便さをもたらしただけ、といった結果になる可能性もあります。

計画運休という考え自体は数十年前からあるのですが、これが実際に行われるようになったのは、人々の安全意識が高まり気象予報の精度が向上した、ほんの最近のことなのです。こうした変化を受けて、「計画運休」という言葉は、日本が何度も大きな台風に見舞われた 2019 年の流行語の 1 つに選ばれました。

現在、政府と公共交通事業者は、計画運休の発表のタイミングをどうするべきか、ということについて検討を重ねています。基本的に、計画運休はその 24 時間前に発表されるべきとされています。関連情報は、各交通事業者の公式ホームページにあります。今回の私のお話が参考になれば幸いです。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答で出された質問

- ・計画運休はよくあるのか。
- ・台風以外の理由で、電車が止まることはあるか。

関連過去問

- ・「満員電車」(H29 時間帯 3 プレゼン) > 『H29 過去問詳解 (上)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅶ』
- ・「ラッシュアワー」(2019 時間帯 1 プレゼン) > 『2018-19 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編⑩』
- ・「計画運休」(2019 時間帯 2 プレゼン) > 『2018-19 過去問詳解ダイジェ

スト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編⑪』

・「気象警報」(2019 時間帯 4 プレゼン) > 『2018-19 過去問詳解ダイジェスト』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編⑫』

・「通訳ガイドの自然災害対応」(2019 時間帯 6 通訳) > 『2018-19 過去問詳解ダイジェスト』「2019 逐次通訳過去問勝負! (下)」

・「地震による新幹線の停止」(2019 時間帯 6 実務質疑) > 『2018-19 過去問詳解ダイジェスト』

② 鳴門海峡

講評

本題は初出である。徳島県には鳴門海峡以外にも観光資源は多いので、今後は同県の事物から、出題の可能性があろう(たとえば「阿波踊り」)。

鳴門海峡の観光というと、ほぼ「鳴門の渦潮」と同義であるほど、これが有名である。よって、出題意図も「鳴門の渦潮」と考え、説明すべきである。

もう1つ、おそらく触れるべきと思われるのが、漫画・アニメの『NARUTO -ナルト-』との関係である。海外でも非常に人気となった作品なので、おそらく知名度はこちらの方が高いと思われる。このように、日本事象を海外の人に紹介する場合は、「相手が既に知っている(知っているような)ことは何か」という視点が大切になる。説明とは、未知の知識を既知の知識に結び付けることだからである。

鳴門は、鳴門巻を通じてラーメンとも関連している。『NARUTO -ナルト-』の主人公、うずまきナルトが「ラーメンが好物」という設定になっていることと相まって、鳴門は、海外でのラーメンの普及に一役買った、という経緯もある。ラーメンは過去問もあり、間違いなく頻出の日本事象であるので、こちらも触れるべきであろう。このように本問は、ポップカルチャーや日本食に話が広がる可能性の高い問題であったといえる。

モデル・プレゼンテーション

I would like to talk about **the Naruto Strait**.

Located between Awaji Island in Hyogo and Naruto City in Tokushima on the island of Shikoku, the Naruto Strait connects the

ページ中略

解答例

The workshop staff say that it will take three weeks for your pottery to be fired and completed. The time is necessary because drying the pieces slowly and completely before firing them in the kiln is crucial to minimizing the risk of cracking. In many other workshops, it may take more time, sometimes months. I'm sorry you have to wait so long. Since you're scheduled to leave for home in two weeks, I'll talk to the staff to see if it is possible to have your pottery shipped to you when it's done.

英語表現

- workshop [wə:kʃəp] 窯元、作業場
- fire [faɪə] 焼く
- kiln [kɪln] 窯
- crucial [krú:ʃəl] 重要な、死命を制するような
- minimize [mínəmaɪz] 最小化する
- ship [ʃɪp] 発送する

解答例の和訳

窯元のスタッフによると、お客さまの作られた陶器を焼き上げるには、3週間ほどかかるとのこと。窯の中で焼く前に作品をゆっくり完全に乾かすことは、割れのリスクを最小化するために重要なので、これだけの時間が必要なのです。窯元の中には、もっと長く、時には数カ月も時間をかけるところもあります。長くお待たせすることになり、すみません。お客さまは2週間で帰国されるご予定ですから、私の方で窯元のスタッフと話をし、お客さまの陶器が完成次第、送ってもらえるかどうか、確かめてみます。

関連過去問

- ・「お土産に自分の印鑑」(2020 時間帯 2 実務質疑) > 『2020-21 過去問詳解ダイジェスト』
- ・「日本刀を土産に持ち帰りたい」(2020 時間帯 2 実務質疑) > 『2020-21

過去問詳解ダイジェスト』

・「孫へのお土産を買いたい」(2021 時間帯2 実務質疑) > 『2020-21 過去問詳解ダイジェスト』

MEMO



第3章

「予定内容について」 掲載のサンプル問題

- ・ 文書「予定内容について」の全文面
- ・ サンプル問題の解答例



本章の内容

文書「予定内容について」とは、平成 30（2018）年度に二次口述の試験形式の変更があった際、その内容について試験実施団体 JNTO が受験者に対して告知する目的で、一次通過者発表（11 月）の後に初公開したものである。

例年、その年の通訳ガイド試験の内容は、春に「ガイドライン」にて告知される。平成 30 年度も、3 月に「ガイドライン」が公表されていた。既述の通り、この年は通訳案内士法の改正に伴い通訳ガイド試験がリニューアルされた年であり、二次試験について新課題「実務質疑」の追加が行われた。この新課題につき当該ガイドラインには一定の記述がなされたが、未だ抽象的であり、その実態は判然としていなかった。

この点につき、二次口述試験直前の 11 月に至って、ようやく試験実施団体 JNTO がサンプル問題を示す等してより具体的に説明を試みたのが、「予定内容について」である。この「予定内容について」は、新課題の内容を受験者が知るための貴重な材料であり、各予備校等も当該文書を研究し、対策を講じた。

しかし、実際の本試験では、新課題「実務質疑」の出題は、日本語で「シチュエーション」と「条件」が示された問題用紙を受験者に手渡し、それを黙読させた上で試験官との質疑を行う、という形で行われた。この「問題用紙を黙読させる」という部分について「予定内容について」に全く記載がなかったため、受験者にとって不意打ちとなった。

新形式 2 年目である 2019 年度も、「予定内容について」の記載はそのままで同様に公表された。しかし、新形式 2 年目の当該年度には、すでに前年の過去問があったため、きちんと過去問の情報を把握していた受験者は、「予定内容について」の記載に拘わらず、こうした混乱を避けることができた。

以降、「予定内容について」は 2020、2021 年度ともに発表された。2020 年度以降は、コロナ対策についての言及が加わった点が特徴で、サンプル問題の変更はなかった。

以上のように、「予定内容について」に掲載されたサンプル問題は実際の出題内容をあまりよく反映していないので、受験者としては本試験の過去問の研究をより重視すべきである。ただそれでも、試験実施団体の公式発表である以上、受験者としては一応、「予定内容について」の内容も押さえておくべきである、との判断から、ここに当該文書とそこに示された例題の解答・解説を例年通り掲載することにする。

「2022 年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について」の概要

前述の通り、当該文書「予定内容」は、2018 年から毎年、全国通訳案内士試験の二次口述受験者に対して交付されている。

この書面は、2019 年度までは各受験者に対して郵送されたほか、PDF にて JNTO の HP で一般公開もされていたところ、翌 2020 年度は受験者への郵送のみになり、2021 年度は各受験者へも電磁的方法（電子出願の際に作られる「マイページ」にて）のみで交付され、一般には公開されなかった。2022 年度は、一次通過の受験者に交付される二次口述用の受験票（電磁的情報）のページに添付される形で配布された。

PEP 英語学校は、本年度の受験者の方から当該書面の内容を情報提供いただいたので、これを今後の受験を考えておられる一般の方々の参考に供するため、以下、当該文面を示す。情報提供いただいた受験者の方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当該文書の内容は、概ね例年と同一だが、細かい点につき若干の改変が見られる。

文書「予定内容について」の全文面

※オリジナルでは、以下の全文を A4 片面に配置してある。

2022年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について

2022年度の口述試験においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、受験者及び試験委員の両者ともに、不織布マスクを着用した状態で試験を実施いたします。各自、不織布マスクをご用意ください。

1. 試験時間は全体を通じて10分程度です。

2. 口述試験の進め方は以下の通りです。

- ① 受験者は、その場で配付される日本語で書かれた3つのキーワードから1つを選択し、そのテーマについて受験外国語で2分程度のプレゼンテーションを行って下さい。

(例題)

1. 絵馬
2. 高野山
3. インスタ映え

- ② ①のプレゼンテーションの内容について、受験外国語で質問をしますので、受験外国語で回答して下さい。

- ③ 次に、試験委員が日本語で読み上げる内容について、1分程度で受験外国語に訳して下さい。配付する用紙と筆記用具を用いてメモを取っても構いません。

(例題)

茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて、感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。

- ④ ③の内容に関連して、日本語で通訳案内の現場で想定される状況に全国通訳案内士としてどのように対応するかを問います。試験委員をお客様と想定し、受験外国語で受け答えして下さい。

(例題)

お客様が茶室に入る前に、茶道には作法や決まり事があると聞いて緊張しています。あなたはお客様に対し、どのように声をかけますか。

ページ中略

第5章

試験会場関連情報

- ・ 本試験の運営状況
- ・ 会場の雰囲気・付近の様子
- ・ 受験するにあたっての注意



東京会場 大妻女子大学 (2022/12/11 著者撮影)

本章の内容

本章では、本試験会場で実際にどのように口述試験が運営されているか、現場の状況等について詳述する。本来、運営については、運営側がイニシアチブを取り、受験者側はそれに素直に従っておけば済むとも考えられる。

しかし、受験者が試験における解答の内容で勝負すべく、全精力を集中するためには、脚下照顧、足元をすくわれることなきよう、手続や試験運営等に関する情報をあらかじめ承知しておくことが、極めて有効である。面接室外でのハプニングによってストレスを受ける危険を最小化し、実力をいかに発揮して合格を確実にするために、ぜひ熟読されたい。

本試験の運営状況

本試験当日の会場では、効率よく整然と多くの受験者に面接を受けさせ、かつ問題の漏洩を防ぐため、綿密なスケジュールが運営側によって組まれている。

受験者にとって実際にストレスとなり得るのは主として、①会場内での移動、②問題漏洩防止のための行動制限等、の2つである。この点について解説する（なお、2020年度より特別な事情から、感染防止策という新しいファクターが加わったが、これについては後述する）。

会場内での移動について

受験者は、受付を済ますと以降、試験終了・解散まで、①大控室⇒②小控室⇒③面接室前の椅子⇒④面接室⇒⑤一時待機場所、と5つの場所を移動させられる。これは、遺漏なくスケジュール通りに面接を受けさせ、問題内容の漏洩を防ぐ趣旨である。そのタイミングについては、次頁以降のタイムテーブルを参照されたい。各移動については、係員の誘導に従えば特に問題はない。

なお、前年度までは「⑤一時待機場所」の後に、「⑥試験終了者待機室」という第6の場所が存在していた。ここにおいて受験者は、その時間帯の全ての受験者の面接試験が終わった後も、約15分間引き続き拘束を受け、その上でやっと解放される、という流れであった。しかし、本年度よりこのシステムは廃止された模様である。本年度の受験者は、その時間帯の受験者全員が試験終了したら、すぐに「⑤一時待機場所」から会場出口へ直接向かうように促された。

たしかにその時間帯の受験者の面接が終わった以上、その時間帯の試験問題の情報漏洩はもはや問題にならないわけであるから、面接終了後さらに15分間の拘束を続ける合理的理由は見出し難い。受験者は従前より拘束時間が短くなり、早く解放されるようになったわけであり、これは歓迎できる変化であろう。実際、二次口述会場へは遠方から出向かれる受験者も多く（試験会場は全国に3カ所しかない）、「おかげで1本早い電車に乗って帰ることができた」と喜んでおられた方もいたようである。

試験運営受託者の交代について

全国通訳案内士試験がリニューアルされた平成 30 (2018) 年度から令和 2 年 (2020) 年度までの 3 年間は、当該試験の運営は、日本出版販売株式会社がこれを JNTO より受託して行った。令和 3 (2021)～令和 4 (2022) の 2 年間は、株式会社 TKP コミュニケーションズが、同事業を受託して行った (なお、2023～2025 年の 3 年間は、日販セグモ株式会社が受託)。

この事業者の交代により、過去毎回、二次口述試験の運営方法にマイナーチェンジが施されてきており (前回、平成 27～29 年の 3 年間に担当した株式会社 ICS コンベンションデザインから日本出版販売株式会社へ変わった際も、小さな変更が行われた)、本年度も同様であった。ただ、受験者に大きな影響を及ぼすような変更はなかった (前回の事業者交代時も、運営スタッフの休憩時間の若干の変更と、それに伴う面接時間帯の移動があった程度であり、受験者に混乱等を生ずるものではなかった)。具体的には、出願手続き等がオンライン化され、受験票を含む多くの事務書類が電子化されたこと、コロナ対策 (2020 年度は、面接中はクリアのマウスシールド着用であったが、2021～2022 年度は終始、不織布マスク着用になったこと、時間帯のタイムテーブルが若干変更されたこと、などである。

次頁以降に示すのは、公開された情報と受験者から聴き取りによって得た情報を元に再現した、本試験当日のタイムテーブルである。時間帯 5 と 6 につき変更があった (2021 年度は「時間帯 5 が 15:45-16:45、時間帯 6 が 16:45-17:45」、であったのに対し、2022 年度は、これが「時間帯 5 が 15:30-16:30、時間帯 6 が 16:30-17:30」、と 15 分前倒しになった。これは面接官のコーヒープレークを 15 分短縮することにより実現されている。ちなみに、2020 年度は 2022 年度と同じタイムテーブルであったので、結局、本年度は、前前年度の形に戻したことになる)。

本試験当日のタイムテーブル

	時間帯 1 (10:00-11:00)	時間帯 2 (11:00-12:00)	時間帯 3 (13:00-14:00)	時間帯 4 (14:00-15:00)	時間帯 5 (15:30-16:30)	時間帯 6 (16:30-17:30)
9:00	受付 9:00-9:25					
9:30	大控室にて 全体説明 9:30-9:45					
10:00	小控室へ 順次移動 9:45～					
10:30	面接時間 10:00-11:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)	受付 10:00-10:25				
		大控室にて 全体説明 10:30-10:45				
		小控室へ 順次移動 10:45～				
11:00	解散	面接時間 11:00-12:00 (1人11分 ずつ、各面接 室につき4人 面接)				
11:30						
12:00	解散					
12:30			受付 12:00-12:25			
13:00			大控室にて 全体説明 12:30-12:45			
			小控室へ 順次移動 12:45～			

ページ中略

〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検1級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

令和4年度 全国通訳案内士試験二次口述過去問詳解(上)

2023年7月 初版発行

著者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102号

Tel: 03-5938-7777

HP: <https://www.pep-eigo.com>

Mail: info@pep-eigo.com

※本書を読まれて、ご感想等ございましたら、
ぜひ上記までお寄せください。

本書の無断複製を厳禁します。

乱丁・落丁はお取替えます。

2023 年度
全国通訳案内士試験

口述ならPEP!

二次口述 特別動画セミナー



講師：校長 杉森 元
Hajime Sugimori

全10講（8月中旬HPに詳細UP予定）

PEP 英語学校主催、毎年恒例のセミナーを新作動画でお届けします。全語学共通たる二次口述試験につき、最新の傾向と対策をお話しします。英語以外の言語で受験される方、来年度以降受験予定の方も、ぜひご覧ください。本書『過去問詳解（上）』が指定テキストで、このままお持ち込みいただけます。ネット環境さえあれば、いつでもどこでも受講可能。高コスパ、安心、フレキシブルなセミナーです！

◆受講形態

各自でネット環境とデバイス（PC、タブレット、スマホ等）をご用意ください。PEP 英語学校 HP にアクセス後、「マイアカウント」へログイン後、動画を視聴いただきます。開催期間中、ご自身のペースで、追加料金なしに何度でも繰り返し視聴 OK です。

◆受講申込手続

トップのバナーより、申込フォームで受講をお申し込みください。決済後、教材をお送りします。動画講義は決済後、すぐに視聴できます。

教材セール他特典多数
いざ、ホームページへ

PEPへGo!
急げ!



これで完成！全10講

講	内容	講	内容
1	挨拶・全体説明	6	プレゼン① 理論
2	二次口述の全体像	7	プレゼン② 演習
3	通訳① 理論	8	出題予想
4	通訳② 演習	9	学習計画の立て方
5	実務質疑	10	その他

第1講は無料公開!

HPへ
どうぞ!

2023年度 全国通訳案内士試験

二次口述
特別動画
セミナー

第1講 挨拶・全体説明

(全10講)



PEP 英語学校

検索

www.pep-eigo.com



ISBN978-4-908485-37-4
C1082 ¥5273E



9784908485374



1921082052734

令和4年度 課題一覧 2022年12月11日(日) 試験実施

掲載	面接時間帯	組	プレゼンテーション (計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
上 巻	1 10:00-11:00	1	①計画運休 ②鳴門海峡 ③お守り	焼酎	日本酒と思ったら 焼酎だった
		2	①接客ロボット ②中山道 ③門松	日本の果物	ブドウ狩りで 採り尽くされた
	2 11:00-12:00	1	①金の鯨(シャチホコ) ②海女さん ③わさび	京都の 祇園・東山エリア	京都で子供が 神社仏閣に飽きた
		2	①線状降水帯 ②漆塗り ③道の駅	ラーメン	有名ラーメン店が 急な休業
	3 13:00-14:00	1	①西九州新幹線 ②なまはげ ③俳句	駅弁	冷たい駅弁は 食べたくない
		2	①佐渡金山 ②古民家 ③おみくじ	陶器	窯元の作品完成に 3週間かかる
下 巻	4 14:00-15:00	1	①恵方巻 ②中華街 ③床の間	金刀比羅宮	金刀比羅宮の 階段に妻が疲れた
		2	①白河の関 ②鯛焼き ③グランピング	一見さんお断り	一見さんを なぜ断るのか
	5 15:30-16:30	1	①秋田竿燈まつり ②借景 ③赤飯	桜島の火山灰	雨の場合の 桜島観光
		2	①杉玉 ②小笠原諸島 ③セルフレジ	天婦羅	天婦羅に飽きた
	6 16:30-17:30	1	①麴 ②山寺 ③一人カラオケ	和楽器	プロの三味線の 演奏を聴きたい
		2	①大安吉日 ②うどん ③豊洲市場	日本のコロナ規制	博物館でのマスク 着用は義務か

※問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。